

平成29年度

# 元気な森林づくり活動支援事業

## 事例集

平成30年6月

茨 城 県

# 目次

(平成29年度事業)

## 1 森づくり部門

いばらき森林クラブ（常陸太田市） .....	3
特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき（水戸市） .....	4
神栖市美化運動推進連絡協議会（神栖市） .....	5
つくばフォレストクラブ（つくば市） .....	6
つくば森林クラブ（つくば市） .....	7
つくば樹楽会（かすみがうら市） .....	8
特定非営利活動法人 古瀬の自然と文化を守る会（つくばみらい市） .....	9
山尾元気な森林づくりの会（桜川市） .....	10

## 2 木づかい部門

中野富士山古墳保存会（常陸太田市） .....	12
栄町環境美化クラブ（常陸大宮市） .....	13
茨城県建築士会 龍ヶ崎支部（龍ヶ崎市） .....	14

## 3 森林環境学習部門

一般社団法人 茨城経営クラブ（水戸市） .....	16
常陽森のボランティア（茨城町） .....	17
協同組合 いばらき大工棟梁の会（土浦市） .....	18
いちょうの会（取手市） .....	19
特定非営利活動法人 やみぞの森（つくば市） .....	20
特定非営利活動法人 里山再生と食の安全を考える会（つくば市） .....	21
特定非営利活動法人 こが里山を守る会（古河市） .....	22
結城里山の会（結城市） .....	23
森睦会（常総市） .....	24

# 1. 森林づくり部門

団体名及び代表者名	いばらき森林クラブ 代表 三村 玄
事業期間	平成29年7月30日から平成30年3月12日まで
主な事業実施場所	常陸太田市新宿町字山吹 ヒノキ林
事業の参加者数	延べ67名（1回あたり最大11名，最小8名）
事業による活動実績	対象のヒノキ林は長年手入れされないまま放置されていたので、昼でも暗い場所となっていた。そこで、この活動により間伐，下刈，小径木や枯損木の撤去などの森林づくりを実施した。
事業の成果	事業実施後は，林内に太陽光が入るようになり，健全なヒノキ林として豊かな植生が期待できる。また，活動場所は西山公園の駐車場に隣接しており，来場者と話す機会も多く，整備された林内を見通すことができるようになったことから，森林に対する県民意識の向上に寄与することができた。さらに，密集した林内での効率の良い間伐処理や掛り木処理，ロープ掛けなどを体験することにより，会員の技術の向上を図ることができた。



チェーンソーによる伐木



ローププラーと滑車を用いた伐木



間伐により明るくなった林内



事業のPR看板設置



団体名及び代表者名	特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき 理事長 大場 国行
事業期間	平成29年4月1日から平成30年3月20日
主な事業実施場所	水戸市栗崎町大字原山
事業の参加者数	延べ531名（1回あたり最大78名，最小15名）
事業による活動実績	緑豊かな里地・里山・平地林を子供たちに引き渡すため，放置された平地林を整備した。森林整備作業は継続的な管理が必要であるため，隣接する団体に呼びかけ組織の連携を図り，13団体により管理作業を進めた。平地林の倒木・枯損木の処理，伐採木の粉碎処理，チップ敷き均しなどを行った。
事業の成果	チップ敷き均しによりクッション性のある園路となり高齢者が利用し始めている。地域団体がボランティアとして森林づくりに積極的に参加している。自然との関わりは人間として豊かな感性と命の大切さを学ぶ貴重な場所であると考えて環境学習会を行っている。



森林整備作業



倒木処理作業



チップ敷き均し作業



巣箱づくり



団体名及び代表者名	神栖市美化運動推進連絡協議会 会長 才賀 秀樹	
事業期間	平成29年11月19日から平成30年3月14日	
主な事業実施場所	神栖市矢田部海岸沿い	
事業の参加者数	延べ700名（1回あたり最大600名，最小7名）	
事業による活動実績	平成30年3月4日（日）に「白砂青松プロジェクト」を開催し，500人もの参加者により2,400本（内1,400本が当事業によるもの）の松の苗木を植樹した。このイベントは，近年松くい虫等による被害が増大し，衰退した松林を再生させる目的で実施した。	
事業の成果	平成26年開催時（第1回目）に植樹した松の苗木は順調に生育し，実った松かさから種子の採取を行えるまでになった。また，多くの参加者が会場に足を運ぶことで，自然の美しさや大切さを感じていただくとともに，防風林に対する市民の意識が醸成された。	
		
	植樹前	植樹作業
		
	植樹作業	補植作業
		
	植栽後	平成26年に植樹し4年が経過した松

団体名及び代表者名	つくばフォレストクラブ 代表 福木 哲朗
事業期間	平成29年5月22日から平成30年3月14日
主な事業実施場所	つくば市小荃847番地（通称おぐろくの森）
事業の参加者数	延べ79名（1回あたり最大14名，最小8名）
事業による活動実績	もとはマツや雑木林等であったが，管理が放置されていたため，ササ等が繁茂し，倒木の多い暗い森林となっていた。 今回はササの刈取り，間伐を行い太陽光が林床に当たる明るい森にした。
事業の成果	当初の目標通り里山周辺は明るくなり，グループや個々の散策者，バードウォッチャーなどが増えてきた。 以前整備したところは，古老の話に聞かれるよう植物が生え，昆虫，野鳥，小動物などがみられ，生態系が蘇っている。
	
整備前の状況	下草刈り
	
チップパー作業	森林整備後のヤマユリ
	
間伐体験	散策道の様子



団体名及び代表者名	つくば森林クラブ 代表 青木 正	
事業期間	平成29年8月1日から平成30年3月15日	
主な事業実施場所	つくば市筑波字東山150番地, 159-1番地, 160番地	
事業の参加者数	延べ42名（1回あたり最大8名, 最小6名）	
事業による活動実績	林に隣接して筑波山の登山道があり, 観光客が絶えず訪れている場所にあるので, 整備が望まれている場所であった。篠竹などが繁茂し, 人の出入りもできないので, まずは人の出入りができ, 林の管理ができる状態に整備を行った。	
事業の成果	観光客などの出入りがある林なので, 森林の良さを体感できることも考慮した整備に心掛けた。 土砂崩れの心配があるので, 当面は現存の雑木をうまく利用し, 徐々に植林することを考えて, 整備を行った。	
		
	作業の様子①	作業の様子②
		
	作業後の様子①	作業後の様子②
		
	作業後の様子③	作業後の様子④



団体名及び代表者名	つくば樹楽会会長 阿部 隆男
事業期間	平成29年4月16日から平成30年3月18日
主な事業実施場所	かすみがうら市東野寺字南原の檜林
事業の参加者数	延べ173名（1回あたり最大13名,最小6名）
事業による活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒノキ林の整備（間伐・除伐14回,下草刈り8回・枝打ち2回）を実施した。</li> <li>・交流会で広葉樹・落葉樹の植栽を実施した。</li> <li>・交流会開催時【森林の役割をもっと知ろう】の公演を実施した。</li> <li>・ヒノキの間伐体験（1回）を実施した。</li> </ul>
事業の成果	<p>森林の整備については間伐・除伐等を実施し、目標としていた回数よりも多く行うことができ、林内に日が差し活動場所が明るくなった。地域の方々と交流会を行い、森林の役割と大切さを啓蒙できた。地域の方からは「参加できてよかった」等の声をいただいた。</p>



植栽予定地の整備



間伐作業



下草刈り



地域交流会の様子



植栽作業



整備後の状況



団体名及び代表者名	特定非営利活動法人 古瀬の自然と文化を守る会 代表理事 寺田 義雄	
事業期間	平成29年10月1日から平成30年3月23日	
主な事業実施場所	つくばみらい市筒戸2308番地	
事業の参加者数	延べ480名（1回あたり最大120名, 最小10名）	
事業による活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採竹を使用し、農村の文化・伝統行事のイベントを行った。</li> <li>・屋敷林、竹林等管理放棄地の整備活動を行った。</li> <li>・雑木林、竹林、田んぼの水路などでの自然観察会を実施した。</li> <li>・活動に多数の大学生の参加を得た。</li> </ul>	
事業の成果	<p>活動を通じ、高齢の土地所有者が管理できなくなったので間伐等の整備を依頼してくる件数が増加傾向にある。</p> <p>他の団体とのイベントの共催及び交流機会が増えてきた。地域の活性化につなげて、お互いの共助体制を深められた。</p>	
		
竹細工教室	竹林教室	
		
竹炭作り	竹林下草刈り	
		
シイタケ原木の伐採	伐採後のシイタケ原木	



団体名及び代表者名	山尾元気な森林づくりの会 代表 櫻井憲一
事業期間	平成29年8月18日から平成30年2月28日
主な事業実施場所	桜川市真壁町山尾芳が谷及び富士根地区
事業の参加者数	延べ71名（1回あたり最大31名，最小19名）
事業による活動実績	<p>伝統行事が開催される山の登山道や廃寺跡地周辺の放置された雑木林において，森林整備や下草刈りを実施した。</p> <p>森林整備を行った場所にヤマザクラの植栽を実施した。</p>
事業の成果	<p>廃寺の周辺森林を整備しヤマザクラを植栽したことにより，地域住民や子供たちが訪れて里山の美しさを見て楽しむ環境が作られた。これによって，森林の役割や大切さを理解できる場づくりができた。</p> <p>地域の森林を整備することで住民の森林保全への関心が高まったことで，当初の予定よりも参加者が増えた。</p>
	
登山道の整備	ヤマザクラ植栽地の整備
	
ヤマザクラ植栽	植栽したヤマザクラを支柱に固定し保護

## 2. 木づかい部門



団体名及び代表者名	中野富士山古墳保存会 代表 埴 忠敬
事業期間	平成29年10月7日から平成30年1月14日
主な事業実施場所	常陸太田市中野町地内
事業の参加者数	延べ57名（1回あたり最大15名，最小1名）
事業による活動実績	常陸太田市中野町の富士山古墳の隣接地に，地域の活性化と住民の憩いの場として，県産木材を使用して「あずまや」を設置した。 製作設置は，業者と当保存会員の共同作業により実施した。
事業の成果	中野富士山古墳は，地域住民のコミュニティの場として，また近隣学校の児童・生徒の学習の場，市の生涯学習センターの講座内容として，年間を通じて人々が訪れている。 「あずまや」を設置したことにより，訪れる人が増加し，休憩所としてより一層の地域住民のコミュニティが図られるようになった。また，木材を使用したことにより訪れた人は木の良さ温もりを感じている。



製作状況①



製作状況②



テーブル，ベンチの設置



完成集合写真

団体名及び代表者名	栄町環境美花クラブ 代表 鴨志田 紘二
事業期間	平成29年9月1日から平成30年3月10日
主な事業実施場所	常陸大宮市栄町地内
事業の参加者数	延べ72名（1回あたり最大28名，最小8名）
事業による活動実績	常陸大宮市内の各公共施設に、木製ベンチ18基を寄贈し設置した。 常陸大宮市農村環境センター 6基 常陸大宮市「道の駅かわプラザ」 8基 常陸大宮市老人会生き生きクラブ 4基 (規格 長さ1.8m 幅50cm 幅48cm)
事業の成果	木製ベンチは市内の間伐材を有効利用して製作しており、市内での地産地消を実現できた。また、木製ベンチを公共施設に設置したことで、環境負荷を軽減し、市民が木材の良さや温もりを実感できるようになった。



打合せの様子



製作状況



設置状況①



設置状況②および看板



団体名及び代表者名	茨城県建築士会龍ヶ崎支部 支部長 家富 秀一
事業期間	平成29年8月25日から平成30年2月25日
主な事業実施場所	龍ヶ崎商店街大通り「にぎわい広場」
事業の参加者数	延べ300名
事業による活動実績	平成29年11月23日の「勤労感謝の日」に約1.8kmの龍ヶ崎商店街大通りを歩行者天国にしてイベントや物産販売などが行われる商業まつりが開催された。その中心的な部分で茨城県産材を使用した「本棚作り体験」を行った。
事業の成果	予定していた120組全てを体験してもらうことができ、無事故で無事に終えることができた。 参加者の方からも、この活動の継続を望む声が多く上げられているため、今後も地域の方々とコミュニケーションを図っていきたい。
	
事前準備の様子	本棚
	
「本棚作り体験」①	「本棚作り体験」②
	
「本棚作り体験」③	「本棚作り体験」④

### 3. 森林環境學習部門



団体名及び代表者名	一般社団法人 茨城経営クラブ 代表理事 友末 忠徳
事業期間	平成29年7月26日から平成30年2月9日
主な事業実施場所	学校法人少友学園 認定子ども園フレンド 少友幼稚園
事業の参加者数	延べ130名（1回あたり最大110名，最小20名）
事業による活動実績	<p>箸づくり：茨城県産の檜，漆を使って自分に合ったサイズの塗り箸を仕上げる。</p> <p>緑育：木に触れて，見て，環境や林業の事を楽しみながら学んだ。</p> <p>食育：箸の使い方，行事の説明を聞き，きれいにディスプレイされたテーブルに着いて，間伐材を利用したお皿に盛りつけたお菓子をいただく。</p>
事業の成果	<p>各コーナーの指導責任者には，それぞれ深い知識と経験のある方に担当していただき，安全に，確実に体験ができた。</p> <p>県産の檜と漆で作った自分の箸を家族皆で使うことが，コミュニケーションのきっかけとなり，多くの人，物，知識と触れ合うことができた。</p>
	
箸づくり：鉋をかける → やすりで形を整える	漆を塗る（詳しい漆の説明を聞く）
	
緑育：木のおもちゃ遊び 木端を使った工作	緑育：実際の木を見て学ぶ 自然や林業の作業を知る
	
食育：箸使い・マナーなどを学び， 間伐材を利用したお皿でおやつをいただく	集合写真



団体名及び代表者名	常陽森のボランティア 代表 日熊 幸男
事業期間	平成29年4月1日から平成30年3月15日
主な事業実施場所	茨城県若宮地区
事業の参加者数	延べ276名（1回あたり最大76名，最小1名）
事業による活動実績	<p>過去に本事業等を活用し整備したフィールドにおいて，近隣住民や養護施設の児童などを対象とした森林学習イベントを開催した。平成29年4月にタケノコ掘り，竹工作，8月にサマーキャンプで竹工作等，12月にミニ門松作りを開催した。</p> <p>また，イベント開催前には事前準備と当日の安全確保のため，森林整備を実施した。</p>
事業の成果	<p>森林学習イベントの参加者は，森林の中での竹細工体験や森の恵みを味わうことで，森林の持つ働きを体で感じる事ができた。また，人と人とのつながりの大切さを再認識し，交流を深める事ができた。</p>



タケノコ掘り



タケノコ掘り



竹工作



ミニ門松作り



団体名及び代表者名	協同組合 いばらき大工棟梁の会 石坂 健一
事業期間	平成29年10月22日から平成30年2月26日
主な事業実施場所	霞ヶ浦総合公園，びあタウン（土浦市），土浦市都和公民館
事業の参加者数	延べ300人（1回あたり最大120名，最小80名）
事業による活動実績	10月，12月，2月に場所を変えて3回にわたり活動を行った。釘と金槌で大工と一緒に作る木工教室を120組，鉋で仕上げることで愛着が沸く箸作りを110セット行った。また，杉丸太に釘を打つ体験やカンナ屑のプールなど木に触れられる体験コーナーが大人気だった。
事業の成果	地域材を利用し職人と共に体験できる活動は多くの子供たちやその保護者にも八溝材の良さをアピールできることとなった。また，大工の技術の高さを再確認してもらい，この子供たちが伝統工法の担い手に興味をもってくれたことが期待できる。
	
木工体験①	木工体験②
	
箸作り体験①	箸作り体験②
	
箸作り体験③	箸作り体験④



団体名及び代表者名	いちょうの会 会長 結城 直子	
事業期間	平成29年6月1日から平成30年3月15日	
主な事業実施場所	① 高井城址公園 ② 藤代スポーツセンター	
事業の参加者数	延べ110名（1回あたり最大60名，最小50名）	
事業による活動実績	<p>樹木と野草50種類以上観察を行った。また，秋の味覚であるドングリ類も合わせて観察を行った。</p> <p>樹木の植栽管理講習会を実施し，陽光桜の仮植樹を行い，植栽方法や手順について実作業により丁寧に解説を受けた。</p>	
事業の成果	<p>取手市唯一の城址で自然豊かである高井城址公園にて，数多くの樹木や野草の観察を行い，自然観察の楽しさや関心度が広まった。</p> <p>樹木の植栽管理講習会を藤代スポーツセンターで行い，桜の植栽方法や剪定方法等の学習を行い，森林に対する意識の醸成を図った。</p>	
		
	観察を行った植草①（サルトリイバラ）	観察を行った植草②（カンアオイ）
		
	観察を行った植木（クスノキ）	植栽の様子①
		
	植栽の様子②	剪定の様子



団体名及び代表者名	特定非営利活動法人 やみぞの森 理事長 石川 多聞
事業期間	平成29年7月15日から平成30年2月15日
主な事業実施場所	つくば市「松代交流センター」ホール
事業の参加者数	延べ118名
事業による活動実績	環境意識の啓蒙と創造性を培う「親子木工教室」を、つくば市を中心として小学生とその保護者を対象に実施した。8団体の後援を受け7つの小学校においてチラシを配布した。木材キットの材料調達、加工から当日の分配作業までスタッフ全員で対応し、スムーズに活動を終えることができた。
事業の成果	アンケートの結果を分析した結果、親子で協力して行う創造活動、本格的な木工体験への評価が高かった。さらに、「本物の木工をすることが少ない時代なので、子供にとって大事な体験になった」等の意見をいただき、事業継続を期待する声が多くあがった。
	
木工キットの分配作業	打ち合わせの様子
	
親子木工教育①	親子木工教育②
	
親子木工教室③	親子木工教室④

団体名及び代表者名	特定営利活動法人 里山再生と食の安全を考える会 会長 飯泉 孝司
事業期間	平成29年9月21日から平成30年2月15日
主な事業実施場所	つくば市「なかのきのこ園」
事業の参加者数	延べ101名
事業による活動実績	地域活性と里山保全を目的とした事業の一環として、次世代を担う子どもたちが親子で楽しめる「きのこづくり体験教室」を実施した。原木しいたけの植菌・収穫体験を通して、森林が与えてくれる安全な食の恩恵を次世代に継承する一助となった。
事業の成果	植菌体験・収穫体験を行うことにより、森林の利活用についての関心を深めることができ、森林を大切にする心の醸成が図られた。親子で協力して収穫する体験を通して、家族の絆を深めお互いを思いやる大切さに気付くことができ、参加者からは「次回も参加したい」等の声が多数寄せられた。
	
しいたけ狩り	植菌体験①
	
植菌体験②	植菌体験③
	
原木の様子	開会式の様子



団体名及び代表者名	特定非営利活動法人 こが里山を守る会 代表理事 蒔田睦郎
事業期間	平成29年9月1日から平成30年2月28日
主な事業実施場所	古河市稲宮地区
事業の参加者数	延べ396名（1回あたり最大99名，最小25名）
事業による活動実績	<p>地元の小中学生及び園児の参加による里山体験を実施した。</p> <p>自然環境体験学習として，里山出前講座（里山の主な樹種や立枯れ木の発生原因に関する講座）の開催，里山の恵み体験（山栗拾い，ドングリ拾い，さつま芋掘，椎茸の植菌），里山整備体験（立枯れ木伐採，苗木植栽）を実施した。</p>
事業の成果	<p>身近な里山を自然環境学習の場として活用することにより，学校も積極的に里山体験学習カリキュラムを組むようになっている。里山体験活動の参加希望が増加しており，自然環境保全の認識が高まっている。</p>



里山の恵み体験（山栗拾い）



里山整備体験（立枯れ木伐採）



椎茸の植菌体験



苗木植栽体験



団体名及び代表者名	結城里山の会 会長 海老澤功
事業期間	平成29年8月19日から平成30年3月20日
主な事業実施場所	結城市田間地内 結城市健康の森
事業の参加者数	延べ800名（1回あたり最大400名，最小4名）
事業による活動実績	<p>整備活動を10回，里山を活用した子供たちの森遊びや体験活動を5回実施した。また，地元小学校の4年生が環境教育のために森で授業をし，6年生がクヌギやコナラの植栽を行った。</p> <p>健康の森フェスティバルにおいて，自然観察や森遊びを実施した。</p>
事業の成果	<p>戸外で遊ぶことの少ない子供たちのために，自然に親しみや興味をもって森遊びや体験活動ができる里山の整備を行うことで，イベントに参加した子供たちのほか，同行した父兄も里山（自然）への関心が高まった。</p> <p>森林の整備を定期的に行っていることから，市民や他のボランティア団体の森の活用が広がっている。</p>
	
健康の森整備①	健康の森整備②
	
森の中での授業	クヌギ・コナラの植栽
	
健康の森フェスティバル	自然観察



団体名及び代表者名	森睦会 代表 二方代二郎
事業期間	平成29年9月1日から平成30年3月13日
主な事業実施場所	常総市内, 市内幼稚園及び保育園
事業の参加者数	延べ370名 (1回あたり最大220名, 最小60名)
事業による活動実績	木のおもちゃ作りを常総市の水害被害にあった地域の親子等に対し実施した。県産木材に親しんでもらい木の良さや温かさを実感してもらうことで, 木材住宅の良さをPRした。
事業の成果	木のおもちゃ作りを, 親子370人が体験したことにより, 県産木材の良さや温かさを実感してもらうことができた。また, 木材住宅の良さをPRもできた。 木のおもちゃ作りを親子で作業することにより親子の絆を深め, 笑顔に戻ってもらうことができた。



イベントでの木工教室



市内幼稚園での木工教室①



市内幼稚園での木工教室②



市内保育園での木工教室